

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち			
	3 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			
施策名	(2) 地域ぐるみで育む子どもたちの健全な育成			
施策コード	1-3-2	施策構成	3 事務事業	決算額 7,258 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思う人の割合	%
②	客観指標	家庭教育学級参加者数(社会教育課)	人/年
③	客観指標	成人式参加率(社会教育課)	%
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	23.2	21.2	31.1	27.1	28.1	—	↗	—		
②	3,945	2,587	2,603	2,419	2,264	2,261	4,300	0%		
③	73.1	74.6	78.3	73.4	74.9	70.2	75.0	0%		
④										

■施策における総括

前年度までの課題	家庭教育を充実させるために、PTA活動や家庭教育学級を支援し、参加者数の増加を図る。また、小学校及び地域公民館での寺子屋事業の周知と支援を行う。町が成人式を開催することにより、未来を担う青年たちの大人の仲間入りを祝うとともに、大人としての自覚を持たせ、自分の行動に責任を持たなければならないということを認識させる。また、旧友との交流を深め、心豊かな郷土を愛する大人になってもらう。
今年度の取り組み(成果、効果)	コロナ禍により、家庭教育活動やPTA活動などで、多くの事業実施を見合わせる事となった。町内巡回や立入調査を実施するなど、町民や警察と連携・協力しながら青少年健全育成に努めた。成人式事業では、実行委員会と協力し、ビデオレターや思い出の映像を作成するなど、これまでとは異なる成人式を開催できた。
次年度以降に改善すべき課題	青少年健全育成の担い手が不足している中、コロナ禍の影響により、各種研修会の中止や町内巡回の縮小も生じており、青少年を見守る機会の減少が懸念される。引き続き、ウィズコロナ、アフターコロナも視野に感染防止対策を徹底しながら、PTA活動や家庭教育学級を支援し、地域学校協働活動や成人式事業を実施する。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。		②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。	○	③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。